

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- |   |      |                              |       |                                    |
|---|------|------------------------------|-------|------------------------------------|
| 1 | 会議名  | 加納高等学校 学校運営協議会（ゆめ会議かのう）（第3回） |       |                                    |
| 2 | 開催日時 | 令和8年 2月 10日（火） 10:00～12:00   |       |                                    |
| 3 | 開催場所 | 加納高等学校 校長室                   |       |                                    |
| 4 | 参加者  | 会長                           | 高橋 利行 | 池田町教育委員会教育長                        |
|   |      | 副会長                          | 大宮 康一 | 岐阜大学准教授                            |
|   |      | 委員                           | 小島 紀夫 | （公財）岐阜県教育文化財団総合プロデューサー兼<br>支配人     |
|   |      |                              | 嘉根 礼子 | サラマンカホール支配人                        |
|   |      |                              | 杉本 昭一 | アデコ株式会社未来仕事共創部<br>ソーシャルイノベーション課 課長 |
|   |      |                              | 平木 一弘 | 加納西自治会連合会代表                        |
|   |      |                              | 水野 律子 | 加納まちづくり会会長（欠席）                     |
|   |      |                              | 加藤 里栄 | PTA 会計（欠席）                         |
|   | 学校側  | 高橋 宗彦                        | 校長    |                                    |
|   |      | 須藤 亜由子                       | 教頭    |                                    |
|   |      | 小森 久美子                       | 事務部長  |                                    |
|   |      | 藤垣 美奈子                       | 教務主任  |                                    |
|   |      | 藤田 英博                        | 普通科主任 |                                    |
|   |      | 青木 智宏                        | 研修主事  |                                    |
|   |      | 西川 かおり                       | 教務部   |                                    |

### 5 会議の概要

#### （1）マレーシア国民大学（UKM）理工学部との姉妹校提携について

意見1：若い時からこのような体験ができる機会があることは大変よいことである。今後も続けてほしい。

意見2：研修に行くだけで終わらせず研修後も探究し、つなげていくとよい。

意見3：多数の生徒が研修を希望しても選考からもれる生徒がいるので、研修を希望する生徒が出来るだけ参加できる仕組みを考えてほしい。

意見4：現地とオンラインでつなぐ方法も考えられる。

#### （2）令和7年度 自己評価・学校関係者評価について

意見1：タブレットなどICT環境の整備状況や使用状況はどうなっているか。

⇒ほぼ何らかの方法でタブレットを使用して授業を行っているが、方法は各教員によってさまざまである。

⇒通信環境は良好とはいえない。環境整備がのぞまれる。

意見2：中学校より通信状況など利用するための環境整備が整っていないように思う。

意見3：オンライン学習の支援はどうなっているか。

⇒積極的に行っているが、通信状況も含め課題は多い。

意見4：学校評価について、いくつかの項目のうち無理やりBをつけているような気がする。

総合ではAをつけているので、Bを無理やりつけなくてもよい。もしくは総合のAは不必要かもしれない。

意見5：進路指導でBがついているのはどういうことか。

⇒学力上位層の掘り起こしを目的としたハイレベル模試への参加生徒が、年々減少していることへの危惧からである。

意見6：学習指導でBがついているのはどういうことか。

⇒生徒1人あたり読書数が少なく、設定した目標値に達していないためである。

意見7：目標ありきで貸出冊数が増えればいいわけではない。読書の目的も考えさせる必要がある。本当に必要となれば、自分なりに進めていくはずである。

意見8：AIをよりよく活用するためには、打ち込む内容に教養がなければよりよい回答はえられない。現代社会の状況からも読書の励行がすすめられるのではないか。

意見8：音楽科、美術科については何より本物の体験が大切である。その機会を増やしてほしい。

## 6 会議のまとめ

1・2年生で実施している普通科グローバル探究推進事業の取組みの1つであるマレーシア研修に高い評価をえた。読書励行は難しい課題だが、委員の方々からいろいろな助言をえたので、来年度からできるものから取り組み生徒の教養を高めるよう工夫したい。

最後にSHOW文化祭の活動を参観し、その後、解散した。